

Data Center Life Cycle Services

データセンター ライフサイクルサービス

安全・高効率・高可用性を実現する
データセンター統合ソリューション



データセンターをコストセンターから
ビジネス競争力のあるアセットへ

将来を見据え、データセンターをどう構築し、運用していくのか？
シュナイダーエレクトリックは、その疑問に明確にお答えします。
45年にわたる、データセンターの構築・運用・実務経験を有する
エキスパートの視点と技術力、省エネルギーに対する先進的な研究。
シュナイダーエレクトリックはその総合力で、
データセンターのライフサイクル全体を支えます。



データセンターの3つの課題

ビッグデータやクラウドなど、進化するIT技術をどのようにビジネスに活用するかが経営の鍵となる現代。データセンターも、ビジネス拡大に寄与するために同じスピードで対応していくことが常に求められています。しかし、数年で一変するIT技術やビジネスのニーズに対し、データセンターのライフサイクルは10年20年単位。このスピードの異なる2つを調和させ、効率的にITを活用するためには、ITと共にデータセンターを進化させていく必要があります。

変化するニーズと初期設計のかい離（陳腐化の危険性）

新たなデータセンター活用モデルの登場

数年前には想像もしなかったIT技術が現在の主流となり、データセンターニーズが飛躍的に拡大しています。



ビッグデータ



クラウド



Internet of Things



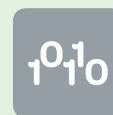
モバイル



メール



Web



ビジネスデータ

経営に直結するIT

ITは、今やすべてのビジネスに欠かせない存在です。ITの停止はビジネスを停止させ、経営にダイレクトなダメージを与えます。

重要設備の限界値の到来（サービス停止リスク）

設備・機材の耐用年数

設備の耐用年数を把握していますか？ 耐用年数が近づくにつれ、機能は劣化し停止リスクが拡大します。



電力設備



空調設備

- 特高/高圧配電設備：20～30年
- UPSトランス/出力盤：15～25年
- UPS：10～15年
- 熱源設備：15～25年
- 空調機：15～30年

電力キャパシティ

設備に供給される電力には上限があります。与えられた範囲で、いかに効率的に使うかが、運用面で強く求められます。



電力



ラック



空調設備

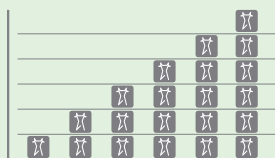


照明などの
その他設備

増え続けるコスト（事業採算性を圧迫）

データセンターコストの増大

コストの中で大きな比率を占める電力コストの削減には、専門的かつ総合的なノウハウが求められます。



電力消費の増大

||

コストの増大

||

地球環境への悪影響

スピード重視による高コスト化

ビジネススピードに追従させるために過剰投資をしてしまい、結果として高コスト体質のデータセンターになっていませんか？



IT機器



データセンター

設備も電力も
限界です！

データセンター最適化の改善プランを描けていますか？

データセンターのライフサイクル全体を見据え、 今、何をすべきかを共に考えます。

シュナイダーエレクトリックがデータセンターのライフサイクルを通じて総合的なサービスを提供できる背景には、データセンター事業者や企業の情報システム部門での実務経験をもつエキスパートを数多く擁することにあります。実際にサーバールームで起こるトラブルとそれを解決した経験をお客様のデータセンターに生かすことで、お客様とノウハウを共有し、信頼できるパートナーとしてお客様と共に歩んでいます。

データセンターライフサイクルサービスが選ばれる3つの理由

管理を簡素化

コストを削減

ビジネス、技術両面の
課題を解決

Design (設計) : データセンターの設計支援

さまざまな制限事項に配慮しながら、
ビジネスニーズに沿った設計をコーディネートします。

設計者とお客様の間に立ち、迅速かつ高コストパフォーマンスの設計を支援します。

>> サービス

- 要件定義書に基づく設計プランの確認、レビュー、アドバイス
- 運用時における実効性シミュレーションなど

>> 特長

- 当社の誇る膨大な設計リファレンスを活用可能
- データセンター物理インフラの設計スペシャリストが、一括して設計を支援



Plan (計画) : 専門家としてのアドバイス

明確な要件定義により、
詳細設計にいち早く着手できるように準備します。

お客様の要望事項を実運用に落とし込むための検討を行い、要件定義を明確化。設計段階へと繋がります。

>> サービス

- システム設計のためのプロジェクトパラメーターを設定
- 事業化コンセプトの策定
- お客様の要望と制約事項を計画に反映
- 設計要件のとりまとめ

>> 特長

- データセンター実務経験者がお客様をサポート。運用効率性を配慮した計画づくりが可能
- 計画段階から高効率化を考慮することにより、運用開始後の全体最適化を実現



Design(設計)

将来を見据え、
どう設計するか

Plan(計画)

計画上最良の
選択は何か

Data Center
Life Cycle
Service



Build(構築)：プロジェクト管理



お客様の立場で、
データセンター構築プロジェクトを一元管理します。

当社のシステムティックなアプローチは、リスクを避け、建設期間を短縮化し、全体コストの軽減を実現します。

>> サービス

- プロジェクト管理
- ベンダー管理
- 構築段階で発生するさまざまな問題への技術アドバイス

>> 特長

- お客様の代理人としてプロジェクト全体を管理・運営
- 竣工後のすみやかな運用開始を意識したプロジェクト運営

Operate(運用)：運用をシンプル化



豊富なデータセンター業務実績に培われた
世界トップクラスの専門性と効率性を提供します。

健全かつ効率的なデータセンター運用を実現するために、自社製品にこだわらず、マルチベンダーサポートを提供します。

>> サービス

- メンテナンス – お客様のニーズを満たす総合的かつ幅広いメニューを用意
- 運用・監視 – 実績あるメソッドと手順に基づき、多様な運用・監視ニーズに対応
- 分析 – 蓄積されたデータをもとにデータセンターサイエンティストが現状を分析

>> 特長

- 他社製品を含め、全インフラを運用・保守対象にすることが可能
- 経験豊富なスタッフによるオンサイト監視／リモート監視
- 分析に基づくインシデントの発生予測と対策の実施

Assess(解析)：現状のパフォーマンスの把握



ITコストの削減、事業継続性の強化のためには、
まず現状を正確に把握する必要があります。

データセンター内の環境、個別設備や機器の実効能力を調査。安全性、容量上の問題、効率低下要因などを評価し、特定します。

>> サービス

- 電力消費や冷却、温度、エアフローなど、さまざまな項目の現状を可視化
- グリーン・グリッドが推奨するデータセンター成熟度モデルとお客様の状況を比較
- 最適化に向けた改善プランを提案

>> 特長

- 洗練されたメソドロジー、グローバルスタンダードに準拠
- わかりやすいビジュアルレポート
- 改善プランニングの提案

コンサルティングサービス

課題を一つずつ解決し、最適化への道を描きます

将来にわたるデータセンター最適化に向けて、
お客様のビジネスを踏まえた改善案を導き出します。

データセンターのさまざまなフェーズで起こりうる課題は多岐にわたり、かつ複数の解決策が存在します。シュナイダーエレクトリックは、経験、ノウハウ、深い分析力、客観的視点、そしてデータセンター業界動向を視野に入れた、ライフサイクル全体を見据えた最適な解決策を提案します。「データセンターに課題があるのはわかっているが、どこから手をつけたらよいかわからない」「障害発生件数が多い」「コストがかかりすぎて困っている」「新築や再構築を検討したいが社内にプロジェクトを任せられる人材がない」など、多岐にわたるお客様の悩みに応えます。



サービスの特長

あらゆるフェーズに対応

シュナイダーエレクトリックには、データセンターに関連するさまざまなエキスパートが全世界で7000名所属しています。そのため、計画段階から運用に至るまで、ライフサイクルのあらゆるフェーズにおける課題解決に対応が可能です。

実務経験者がお客様をサポート

コンサルティングは、データセンターや情報システムなどの実務経験をもつエキスパートが担当します。机上の空論ではない、実現可能な提案は高い評価を得ています。

幅広いマーケットに対応

シュナイダーエレクトリックは、製造、金融、情報通信、医療など幅広いマーケットでサービスを展開しています。そのため、異なるビジネスモデルや商習慣を理解し、ニーズに即した改善プランを描くことが可能です。

ビジネス課題に解決策を提示

データセンターの構築や運用における技術的課題だけでなく、コスト削減などビジネス面での課題についてもご相談ください。

小規模～大規模まで対応

企業内サーバーハウスの課題解決から大規模データセンターの構築コンサルティングまで、規模に応じた最善のプランを提案します。

エネルギー管理の専門家

シュナイダーエレクトリックのエネルギー管理に関する見識は国内外を問わず、高い評価を得ています。

アセスメントサービス

最適化の第一歩 データセンター解析サービス

データセンター最適化の解決策、
それは可視化を避けては通れません。

アセスメントサービスは、現状の運用環境を分析することにより、データセンターの全体像を俯瞰し、客観的評価を行う可視化サービスです。認識している課題に加え、潜在するリスクを浮き彫りにすることにより、安全かつ効率的なデータセンターを運営する上で必要不可欠な課題把握の精度を向上させることができます。

データセンターの可視化は、「データセンターの安定運用に不安がある」「社内で最適化を推進しているが、進んでいる方向が正しいか判断がつかない」「問題に対してさまざまな対応をしてきたが、根本原因がわからない」「マネジメント層にとって、データセンターの問題点や現状が把握しづらい」などの課題に対し的確な答えを提供します。

アセスメントサービスのプロセス

初期アセスメントを経て、お客様合意のもと、詳細アセスメントへ進みます。



サービスの特長

洗練されたメソッド

長年にわたり世界中のデータセンターの解析を実施してきた経験を、独自開発のデータセンター解析ソフトウェアに集約。シュナイダーエレクトリックの基準値と解析結果の比較は、改善箇所を明確に可視化することができます。

ビジュアル化されたレポート

エアフローや温度分布などのビジュアルマップ、一目でわかるエコデータセンターとしての成熟度や各種設備能力の理論値と実測値の差異など、マネジメント層の方にも問題点がわかりやすいビジュアルレポートを提示します。

グローバル標準であるグリーン・グリッドに準拠

シュナイダーエレクトリックのアセスメントサービスは、グリーン・グリッドが推奨するデータセンター成熟度に準拠しており、片寄りのない正しい結果を導き出します。

改善プランの提案

アセスメントを現状把握だけに終わらせないために、解析結果の報告と共に、お客様に適した最終目標やそのためのスケジュールを含めた改善プランを提示します。

日本向けオプションを準備

グローバル基準に加え、地震リスク診断など、国内データセンターにとって必要不可欠なプログラムも提供します。

改善プラン実現のためのリソースやサービスを保有

お客様が改善を行う上で必要とされる多様なソリューションを保有しています。シュナイダーエレクトリックはお客様と共に、最適化されたデータセンターづくりをめざします。

カタログダウンロードサイト

カタログ、データブックはシュナイダーエレクトリック製品カタログダウンロードサイトから入手できます。

<http://catalog.clubapc.jp/>



シュナイダーエレクトリック株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-6 オアーゼ芝浦MJビル
TEL: 03-5931-7500
FAX: 03-3455-2030
Email: jinfo@schneider-electric.com

apc.com/jp
schneider-electric.com/jp

製品のお問い合わせ先：カスタマーケアセンター
TEL: 0570-056-800
(つながらない場合は、03-5931-7800へお問い合わせください)
月曜日～金曜日9:00～17:00 (ただし、祝祭日、弊社の定めた休日を除く)

- ・本カタログに掲載されているサービス内容は予告なく変更する場合があります。
- ・価格は為替の変動等により予告なしに変更する場合があります。
- ・予告なしに一部意匠および仕様を変更する場合があります。
- ・記載された社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

販 売 店